

科目	数学Ⅱ	学年	第2学年	開講	通年	必修	4 単位
----	-----	----	------	----	----	----	------

学習目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
------	---

教科書：「高等学校 数学Ⅱ」数研出版
副教材：「4プロセス 数学Ⅱ+B」数研出版

学習計画及び評価方法

- a 知識・技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点		
							a	b	c
前期	式と証明	式と計算	3次式の展開と因数分解	・ 3次式の公式や二項定理を理解し、それらを用いて式の展開・因数分解をする。 ・ 整式の除法、分数式の計算をする。 ・ 恒等式の性質を理解する。	4		○	○	○
			二項定理				○	○	○
			整式の割り算				○	○	
			分数式とその計算				○	○	○
		恒等式	○	○					
	等式・不等式の証明	等式の証明	・ 等式、不等式の性質を理解し、相加・相乗平均などを用いて証明を行う。	○	○				
		不等式の証明		○	○	○			
	複素数と方程式	複素数と2次方程式の解	複素数とその計算	・ 複素数の性質を理解し、四則計算をする。 ・ 2次方程式の解の判別を理解する。	6	中間	○	○	
			2次方程式の解				○	○	
		高次方程式	剰余の定理と因数定理	・ 剰余定理、因数定理を理解し、高次方程式に 응용して解を求める。	7	○	○		
高次方程式			○			○			
図形と方程式	点と直線	直線上の点	・ 座標上において、内分・外分点の位置を求め、2点間の距離を計算する ・ 座標上における直線を方程式で表す。 ・ 2直線の位置関係を考察する。	9	期末	○	○		
		平面上の点				○	○		
		直線の方程式				○	○		
		2直線の関係				○	○		
前期 授業評価									
後期	図形と方程式	円	円の方程式	・ 円を方程式で表し、円と直線、2つの円の位置関係を考察する。	10		○	○	
			円と直線				○	○	○
			2つの円				○	○	○
	三角関数	軌跡と領域	軌跡と方程式	・ 図形を点の集合とみなし、軌跡や領域を理解する。 ・ 弧度法による角の表し方を理解し、三角関数の性質やグラフの特徴を理解する。 ・ 三角関数を用いた方程式、不等式の解を求める。	11	中間	○	○	
			不等式の表す領域				○	○	○
			角の拡張				○	○	
			三角関数				○	○	
		三角関数のグラフと性質	三角関数の含む方程式・不等式	○	○				
			三角関数の含む方程式・不等式	○	○				
	加法定理	三角関数の加法定理	・ 三角関数の加法定理を理解し、2倍角の公式や三角関数の合成を理解する。	12	○	○			
		加法定理の応用			○	○	○		
	指数関数と対数関数	指数関数	指数の拡張	・ 指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1		○	○	
			指数関数				○	○	
		対数関数	対数とその性質				○	○	
			対数関数				○	○	
微分法と積分法	微分係数と導関数	常用対数	・ 微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	2	期末	○	○		
		微分係数				○	○		
		導関数とその計算				○	○		
	関数の値の変化	接線の方程式				○	○	○	
		関数の増減と極大・極小							
		関数の増減・グラフの応用							
	積分法	不定積分				○	○	○	
		定積分							
		定積分と面積							
後期 授業評価									

評価の観点

<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか。 ・ 事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決できるかどうか。

評定の決め方

<ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能：定期考查 ○思考・判断・表現：定期考查・レポート ○主体的に学習に取り組む態度：ワークショップ型授業・レポート
--